

## 【組織における共通目標とは】

### 共通目標

- ・組織全体 → 経営理念、経営方針、経営ビジョン
- ・各部門 → 部門方針、部門目標、各人の目標

## 1. 経営組織を考える

一般的に経営組織を編成する目的は、会社が掲げる目的をより早く達成するためであり、そのために、人材を適正に配置して組織編成を行います。しかし、病院の場合には、行える医療行為が医療法で規制されているために、勝手に人材を移動することはできません。だからこそ、一般企業よりも病院が掲げる目標を理解させることが重要となります。つまり、資格によって違う業務内容を行い、組織編成を自由に出来ないだけに、業務を担う職員が勝手に高度化するのではなく、病院の向かう方向を明確にして、その方向に向かうように指導教育することが必要となります。

そのように考えると、最も基本的な教育が、経営理念を理解してもらうことです。経営理念を実現するように、それに沿った日常行動を行うことが必要となります。さらに、職員の日常の行動は、病院の方針に沿っていることが求められます。

## 2. 全体と部門の関係

病院全体の理念や方針を各職員の日常行動までに関連づけさせることは、非常に難しいと思えます。ましてや、抽象的な言葉を職員が勝手に理解して、日常の行動の基準とすることには混乱も生じると考えます。

したがって、病院全体の経営理念や経営方針、経営目標及び経営ビジョンを受けて各職場でより具体化することが必要になります。つまり、全体で決定されたことを職員の身近なものとするために、各職場でより具体的な内容に転換することが必要であり、職員にとって自分達の日常の業務との係り合いを明確にすることが必要となります。

例えば、経営理念に沿った日常の行動とはどのような行動なのかを明確にしてあげることであり、毎日・毎月・毎年と変化させることも可能です。さらに、目標は職場では、具体的な数字としての指標を計上することも可能ですが、その指標が病院全体との関連性を明確にすることも必要となります。

## 3. 個人の目標

各職場における運営方針や職場目標を職員各自の目標と関連付けることも必要になります。つまり、これは病院全体の年度事業計画と各職場の年度計画及び職員各自の目標設定と実現に向けた個人計画とが一体となっていることを示しています。

病院の事業計画 → 各職場の事業計画 → 各自の年度計画

経営理念

